

令和5年度第3回丸亀市地域公共交通活性化協議会 会議録	
日 時	令和6年1月17日（水）10時00分～11時25分
出席者	<p>（委員）</p> <p>伊藤秀俊、松江康司（代）阪本晃弘、池内丈史、山下周市（代）宮本重利、天野雄二郎、上野智弘、藤本重信、馬場久美子、平井明（代）松本紀弘、鹿児島康一（代）永田一人、角谷政彦、千秋弘明、新名恵、藤田秀光、増田美樹、大西裕子、宮崎耕輔、木村圭佑（代）谷岡拓海、十川裕史（代）紙本尚幸、眞鍋雅彦、建石裕美</p> <p>（事務局）</p> <p>塊場（都市計画課長）、平池（都市計画課副課長）、大関（都市計画課計画担当長）、眞鍋（都市計画課主任）</p>
欠席者	上野博史、高畑美嗣、糸川恭一、秋山ともえ
傍聴者	1名
議 題	<p>第1号 地域公共交通確保維持事業 令和5年度事業評価について</p> <p>第2号 丸亀市 AI デマンド交通実証実験について</p>
発 言 要 旨	
事務局（平池）	ただいまより、令和5年度第3回丸亀市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。はじめに宮崎会長よりご挨拶を賜りたいと存じます。
会長	《挨拶》
事務局（平池）	<p>ありがとうございました。</p> <p>ここで報告させていただきます。本日の委員の出席は21名で、委員25名の半数以上の出席となっておりますので、丸亀市地域公共交通活性化協議会規約第6条第2項の規定により、本会議が成立していることをご報告いたします。また、本会議は原則公開し、傍聴することも可能となっております。会議終了後には会議録を作成し市のホームページにて公表いたします。</p> <p>それでは、議事に入ります。議事進行につきましては、宮崎会長にお願いします。</p>
会長	それでは、議事に入ります。議案第1号「地域公共交通確保維持事業 令和5年度事業評価について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（眞鍋）	《議案第1号を説明》
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>琴参バスの池内委員から何か補足などありますでしょうか。</p>

池内委員	<p>事務局より説明がありました通り、目標値に対し利用者数が大幅に上回り、収支率も年々上がっています。令和元年度の後半からの新型コロナウイルス感染症の拡大により移動の自粛もあって利用者数は減っていましたが、令和5年の1~2月で運賃無料キャンペーンを実施し、利用が回復しました。令和4年の4月から3月までの1年間のコミュニティバスの利用者数では、おそらく過去最多の26万人を超えました。</p> <p>ピカソこんぴら街道店の乗り入れについては利用者や地元の要望で開始しました。綾歌地域の方は買い物でピカソを利用されるとのことでしたが、バスの利用はあまり見られていません。今後も乗降センサーでデータを確認しながら利用を増やしていきたいと思います。四国水族館には丸亀東線のほかにレオマ宇多津線も通ります。レオマ宇多津線はNEWレオマワールドを通りますので、丸亀市と宇多津町の観光施設を結ぶことができましたので四国水族館の利用は多いです。ただ、観光シーズンになると大型の貸切バスが何十台も乗り入れするので、バス停が渋滞し遅延が発生してしまうのが課題です。GTFSについてはGoogleマップに最新の情報を反映しているので、引き続き県外から来られる方が利用できる環境づくりに努めたいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ただいまの説明について何かご質問などありますでしょうか。</p> <p>道路についての話がありました。公共交通の会議ですが道路とも関係があるのでこの会にも道路管理者の方に入っています。観光施設なのでピーク時における交通の対応は難しいと思いますが、施設管理者や道路管理者でも注目していただいで対応をお願いできればと思います。</p> <p>情報提供ですが三豊市詫間にもピカソがあり、コミュニティバスが乗り入れしています。玄関前にバス停が設置されていて乗換地点として設定しており、乗り換えしても追加料金が発生しない乗換券を発行しています。先ほど乗り降りが少ないとの話がありましたが、買い物してまたバスの乗るという時間の合わせ方が難しいのかもしれない。お店側とも調整して店内でPRしてもらおうとか、バスを待つ場所を作るなどできたら利用が増えるのかもしれないね。</p> <p>資料について、本島コミュニティバス⑥事業の今後の改善点のところGTFSデータの活用等との説明がありましたが資料には記載がないので追記して提出をお願いします。この事業評価は四国運輸局へ提出して四国運輸局が二次評価を行います。その後、評価委員会があり三次評価が行われ、その結果が後日協議会に戻ってくるという流れになります。</p> <p>委員の皆様から何かご質問がないようでしたら少し修正していただいで提出をお願いします。</p>

	次に議案第 2 号「丸亀市 AI デマンド交通実証実験について」、事務局より説明をお願いします。
事務局（大関）	《議案第 2 号を説明》
会長	ありがとうございました。 ただいまの説明について何かご質問等ありますでしょうか。
大西委員	郡家校区に住んでいるので、デマンド交通についての声を聞きますがやはり認知度は低いと思います。労災病院や丸亀医療センターはエリアに入っていませんよね。今後、川西や垂水、城南までエリアを広げたら認知度が高まりますし、かつ公益性が上がると思います。また、フジグランを利用する方は助かると声がありました。昨日コミュニティセンターに行ったときに郡家のマルナカからコミュニティセンターまでタクシーで 1,000 円少しかけて来た方がいて、デマンド交通についてお知らせしましたが、認知度が低いと思います。
馬場委員	デマンド交通については事前に市から情報をいただいておりますが、タクシー事業者も脅かされています。運転手不足で手薄感がありご迷惑をかけていますが、タクシー事業者のことも考えていただきたいです。デマンドは市民の方に喜ばれると思いますし、燃料費が高騰し去年の 3 月にタクシーの運賃を値上げしたので 1,000 円かからなかったところが 1,000 円を超えるようになったとおっしゃるお客様もいますが、ドアツードアでタクシーはタクシーなりの利便性があります。郡家地域にはおでかけ便がないということで組合もしぶしぶ受理しました。運転手不足なのでお互い助け合いながら共存共栄でやっていきたいと思っています。
大西委員	市のほうでもタクシーやバスの運転手不足を考えないといけないと思います。また、タクシーにも利便性があって必要だと思います。
馬場委員	私の事業所は祖父の代から始めて 100 年経っていますが、その頃は車がそこまでの時代ですからタクシーの利用者は多かったです。今はマイカーがあるので高齢者や免許証返納者が利用の対象者になっています。大型バスでなくても良い路線はあると思います。10 人くらい乗れるジャンボタクシーを市内の各タクシー事業者が持っていますので、そういった車種に変えていくことで市の経費を抑えられると思います。
事務局（大関）	周知不足については真摯に受け止め、みなさんに認知いただけるよう動いてまいりたいと考えています。労災病院や中心市街地へのエリア拡大については、先ほどの馬場委員からもありましたとおり、兼ね合いも大事になってきます。国道 11 号

<p>会長</p>	<p>から南は運転手不足もあってタクシー事業者も要請にお応えできないエリアということで今回実験エリアとしています。デマンドは利用者からするとどこへでも行けるのが理想だと思いますが、例えば中心市街地に行くのであればタクシーを利用するなど使い分けをしてほしいと思いますので、エリアの拡大や遠方の乗降場所の設定のニーズについてはなかなかお応えできないことをご理解いただきたいと思います。</p> <p>デマンドのチラシにコミュニティバスの路線が入っていませんよね。丸亀市の場合、コミュニティバスは幹線の位置づけになっているので、デマンドはコミュニティバスの代わりではなく、町中まで行きたいのであればコミュニティバスに乗り継いで行くというメッセージが抜けていると思います。現在利用者が少ないというお話がありましたが、ニーズがあるのかなのかまだ3か月ほどなので様子を見ていく必要があると思います。</p> <p>料金設定とサービス水準の絡みは宙ぶらりんになっているので、タクシーは割高と言われますが、改善していく必要があるかもしれないです。</p> <p>配車の時間については平均10分程度とありますが、それくらい狭いエリアで車2台で運営している状況です。タクシーはほぼ市内全域動いているのと、事業者によっては待機場を設けていらっしゃると思いますが、タクシー事業者ではあまり平均待ち時間のデータが出てこないで、今後データなどを数値化して、待たせすぎているのであれば改善しなければならないし、改善できないのであれば行政または地域としてどう対応していくかを考えていかなければなりません。</p> <p>また、公共交通の利用者は高齢者と高校生が多いと思いますが、30～50代くらいの生産年齢の方が公共交通機関を年に数回使うという習慣をつけないと将来的にその人は公共交通を利用できなくなると思います。車を使えなくなると公共交通を使うというのは逆で、公共交通を使うにはある程度歩けないといけません。足腰が丈夫でないと公共交通を使えなくなり、そうになると車、車にも乗れなくといよいよ福祉車両になります。公共交通は高齢者の乗り物という発想を変えていきながら如何に若い世代に乗ってもらえるかという方向で進めていければと思います。</p>
<p>池内委員</p>	<p>時間別の利用や乗合率、乗降ポイントの詳細な場所についてどのようにお知らせしているのか、また利用者の声について教えてください。</p>
<p>事務局（大関）</p>	<p>時間別の利用については分単位でデータはありますが集計がまだできていないので今後報告させていただきます。乗合率は現状ほとんど生じておりません。12月の利用人数は90人ですので単純計算すると1日3人、一人での利用が多いです。ご意見等についてはアプリで集約していますが、開始当初は「AIの道の選定が良くなく時間がかかった」や「高齢の方からは安価で利用しやすい」といった声がありました。利用者に対しアンケート調査を実施しますので、もっと多くの意見が集まっ</p>

池内委員	<p>てくると思います。</p> <p>利用時間帯で乗っていないところや、逆に集中しているところは路線バスに切り替えたり、タクシーで送迎したり、いろんなやり方があると思うので、お互いに良いところを見出しつつやっていくのが良いと思います。</p>
会長	<p>昔は定時定路線型のバスあるいはタクシーの二分分けだったのが、ほとんど利用がないバスの便でたまに乗るのであれば、予約があったときに運行すれば良いのではという発想からデマンド型の交通が出てきました。毎回予約があり運行するのであればわざわざ予約してもらう必要がないので定時型に変えるのはあります。すべてデマンドで対応というわけではなく、デマンドで様子を見ながら利用が増えてくると路線バスに変えるのはあり得る話です。例を挙げると、工業団地があり車通勤していましたが24時間3交代だったこともあり、通勤時における自動車の死亡事故が多くなり、その工場では車通勤を廃止しバスを導入しました。はじめは従業員だけが利用できる貸切で走ってましたが、ある時需要が高まってきたので一般の路線バス化して一般の方も乗れるようにしたというケースもあります。</p> <p>また、AIがルートを選定するのであれば、自動運転のエリアを決めて自動運転で運行できるのではないかとふと思いました。</p>
大西委員	<p>先ほどお話がありましたとおり、若い世代の利用が増えるように考えてほしいと思います。タクシーやデマンド型の交通は主に高齢者の方を対象に考えていると思いますが、40代50代が子どもを連れて利用するようターゲットを変えたら、認知度も高くなると思います。</p>
会長	<p>30～50代は新聞は取らないしテレビも見ない世代のようです。そのため、そのような世代に働きかけるのは難しいです。先ほどピカソの事例を出しましたが、バスがそろそろ到着しますという店内放送をすれば、来店者にバスの存在を知ってもらえるかもしれません。また、三豊市ではバスの発着時刻を表示するデジタルサイネージを設置しています。これもバスの存在をお知らせすることができます。郡家のデマンド交通は利用が少ないなら、町中を走っている姿をあまり見られていないのではないのでしょうか。タクシーも同じで、香川県内のタクシーは基本流しで走っていないので、日中タクシーを見かけることが少ないです。駅などで待機している姿は見ますが、町中を走っているほうが目につきやすいので公共交通は運行することによる宣伝効果があると思います。</p> <p>郡家のデマンド交通の運行事業者の方が本日いらっしゃるので何かコメントなどありましたらお願いします。</p>

<p>琴バス MX (泉木)</p>	<p>琴平バスの子会社であります琴バス MX の泉木と申します。郡家に住んでますので地元のデマンド交通を担うということで責任感とともにうれしく感じております。タクシーとバスを同じグループで運営しており、それぞれの状況を理解しています。その一方で郡家町を中心とした周辺の交通の不便さも実感しているところです。ご心配されているタクシーとの競合については、琴平町で一年ほど前から AI デマンド交通を運行しており、当初は自社のタクシー事業とお客様を食い合いになるのではないかと心配しておりましたが、結果としては開始 2 か月間は利用者数が 0 人で、3 か月目で初めて 10 人を超えたというスロースタートでした。現状は一日 60 人前後のお客様に利用いただき、月間にしますと 1,500 人から 1,800 人のご利用をいただいております。タクシーの売上については落ちておらず、今までタクシーを利用してこなかった方がデマンドって地元を走るのに便利だと新しい顧客層を開拓できたと注目しております。若い方に利用をとお話がありましたが、中学生が塾に通うのに利用されたりとタクシーとバスの間を埋める交通として定着してきていると感じております。郡家町についても、既存の事業者様との共存に力を入れていきたいと思っております。また、バスとの接続が取れるところに乗降ポイント増やし、地図の中にもバスの路線を記載し、デマンド交通とバスを組み合わせることによってこれまで以上に便利な地域になるというのを目で見てもわかるようにしていきたいと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>私からもいくつかコメントさせていただきます。予約は電話とアプリがあり、高齢者の方はほとんど電話予約とのことでしたが、単純にスマートフォンが使えないのではなく、もしかして一人暮らしや高齢の夫婦暮らしで家庭の中で会話がないから話相手のために電話しているのかなと思えました。その辺りは本当に電話予約が必要なのか、アプリのみに移行するのかりサーチする必要があります。もし人恋しさに電話しているのであれば、それは他の取組を考えていかなければならないと思っております。</p> <p>2 点目は、利用目的で金融機関が増えているとのことですが、今から約 20 年近く前の青森での事例になりますが、気兼ねなく銀行まで送迎をお願いできる人がいるかと聞いてみますと、いると答えた方はごくわずかでした。お金をおろすので家族にお願いするのも気を使うようで、病院への送迎は気兼ねなくお願いできるとのことでした。気兼ねなく送迎をお願いできる人がいない、または自分で行くことができないから金融機関目的の利用や増えているとも考えられます。</p> <p>他になければその他としてなにかありますでしょうか。</p>
<p>事務局 (大関)</p>	<p>《資料「75 歳以上無料&毎月 20 日無料デー実施キャンペーンについて」を説明》</p>

会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>池内委員からチラシについてお願いします。</p>
池内委員	<p>《資料「バス運転手募集中！！」を説明》</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>貸切バスについては軽井沢の事故があつてから、料金体系が距離制と時間制の併用に変わりました。路線バスについてはほとんどのところが距離制のみで時間制が含まれていないので非常に安くなります。ですので貸切バスに乗務員を回せばバス事業者の売上が上がりますが、路線バスに乗務員を確保しているという状況で、さらにそれでもやっていけない事業者も最近増えてきているようです。</p>
新名委員	<p>お話を聞いていますと、特に AI デマンドについてはみんなに知ってもらう必要があると思いますので、市老人クラブ連合会の方にも報告したいと思います。</p>
会長	<p>報告が難しい場合は、事務局に相談していただければと思います。</p> <p>琴電でも今月職場体験会を予定されていますよね。</p>
藤本委員	<p>特に技術系の職場で定数が確保できていないのでお知り合いの方でご興味がある方がいらっしゃいましたら 1 月 27 日に開催しましたので、ぜひお願いします。</p>
会長	<p>タクシーがいるから幹線系を安心して利用できるということもありますので、皆さんで協力し合っていければと思います。それでは事務局へ戻します。</p>
事務局（平池）	<p>ご審議ありがとうございました。以上をもちまして令和 5 年度第 3 回丸亀市地域公共交通活性化協議会を終了いたします。</p>